



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年4月12日

ベトナムのコロナ対策の現状 (21年4月)

■現状・防止対策方針

新型コロナウイルスが世界的なパンデミックとなり1年が経過したが、これまでのところベトナムは同ウイルス拡散の抑え込みに成功している。これまで第一波から第三波までが到来したが、その経緯は以下のとおり。

第1波：20年1月23日～4月24日

同期間の最終日
時点の累計感染者数：270名

死亡者数：0名

第2波：20年7月25日～9月3日

同期間の最終日
時点の累計感染者数：1094名

死亡者数：35名

第3波：21年1月27日～2月23日

同期間の最終日
時点の累計感染者数：2401名

死亡者数：35名

21年4月8日時点の数字

累計感染者数：2659名
完治者数：2429名
治療中の人数：195名
死亡者数：35名

注：帰国した国民や入国外国人の感染者が水際で発見されることから市中感染以外の感染者の数は増加する。

ベトナムは中国やカンボジア等と長い国境線で繋がっている。最近、カンボジアでコロナの流行が拡大、ベトナムへの不正入国も巧妙化していることから、政府はコロナ第4波が来襲する可能性があるかと危惧している。そのため、3月26日午後のCOVID-19予防対策指導委員会の会議で、政府は以下の予防対策を最高レベルで継続する方針を示した。

- ① 入国者・帰国者の管理・観察・隔離の徹底、国境地域・国境ゲートの管理を強化し、不正入国を抑制すること
- ② 検査体制の拡充・強化により迅速且つ可能な限り感染者の検出をはかる
- ③ 社会・経済・市民生活への影響を最小限に抑えるために、テスト・隔離・治療等の万全な準備をし、必要に応じ大規模なテストも速やかに実行すること
- ④ ベトナム語のKを頭文字とする5つの感染防止対策キャッチフレーズのもとその実践を人々に引き続き呼び掛けること

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料はCAMが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAMの運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。



(「5K」メッセージは Khau trang=マスク、Khu khuan=消毒、Khoang cach=間隔、Khong tu tap dong nguoi=多くの人が集まらないこと、Khai bao y te=健康申告)

- ⑤ ワクチン接種後の入国希望者を国内に受け入れられるように関係省庁は技術的対策・準備措置を整えること
- ⑥ 国内でのワクチンの開発・治験を加速すること
- ⑦ 感染者が確認された場合、感染領域を特定し感染拡大を阻止すること

■ワクチンの現状

1. ワクチンの接種

ベトナムは 2021 年 3 月 8 日に英国アストラゼネカ製のワクチンの接種を開始した。4 月 7 日の時点で、19 市省で 55,151 人がワクチンを接種している。ところがベトナムは今のところコロナ拡散をうまく抑制していることから、ワクチン優先対象国となっていない。そのため他の多くの国々と同様ワクチン不足が課題であり、集団免疫のレベルを達成するためのワクチンの接種の実施にはまだ時間を要すると思われる。

2. ワクチンの研究・治験

ベトナム国内では 4 つのメーカーが COVID-19 ワクチンを研究している。その内、これまでにナノコバックス(Nanocovax)とコヴィバック(COVIVAC)という 2 種類のワクチンが治験許可されている。

ナノコバックスは第 1 相臨床治験を既に完了していて、現在第 2 治験を実施中。同ワクチンの当初計画では治験は以下 3 期に分けられ、22 年中に治験完了することとしていた。

- ① 第 1 相=4 か月:ワクチンの安全性の確認期間、被験者 60 名
- ② 第 2 相=4 か月:最も効果が高いもの探し、被験者 400-600 名
- ③ 第 3 相=8 か月:ワクチンの安全性、免疫誘導性と効果の再評価、被験者 1,500-3,000 名で 1 万-3 万まで接種拡大可能

コヴィバックは 3 月 15 日から第 1 期臨床治験を開始している。

一方、4 月 7 日、保健省は政府に「ワクチンの治験や製造許可の手続き・期間を短縮する」ことを提案した。これは 2021 年中に COVID-19 のワクチンの治験を完了し、2022 年に国内での接種開始を目指すものである。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。